

# 次期長野地域スクラムビジョンの 策定について

長野市企画課

## 1 ビジョン策定の背景

- ◆ 日本全体の人口減少が進行する中、地方から都市圏への人口流出が続いている状況
- ◆ 一つの自治体のみで解決できない課題について、広域的に取り組んでいく必要が高まっている

## 2 ビジョン策定の趣旨

中核市である長野市と近隣市町村により、連携中枢都市圏としてスクラムを組み、各市町村の「お互いの強みを活かし、弱みを補う」



- ◆ 持続可能な地域社会の創生
- ◆ 圏域全体の活性化と発展

## 3 連携中枢都市圏を構成する市町村

長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町

## 4 ビジョン策定の基本的視点

ビジョン策定の背景・趣旨を十分に踏まえた上で、現行のビジョンを活かしつつ実効性の高いビジョンとするため、以下の視点を重視して現行のビジョンを見直し、次期ビジョンを策定する

### 現行の具体的取組の見直し

- ◆ 新たに取り組むべき内容を検討
- ◆ 現行の取組の内、あまり実態を伴わないものについては、次期ビジョンにおける見直しも検討

### 各取組のKPIの見直し

- ◆ 取組ごとにレベル感に差があることから、適切な指標設定となるよう見直しを図る

### 関係機関との連携強化

- ◆ 長野県、長野広域連合との情報共有と連携を強化し、広域でのより効果的な取組を検討

## 5 ビジョンの概要

構成は現行のビジョンを引き継ぎ、以下のとおりとする

### 構成

- 序 策定の趣旨
- I 連携中枢都市圏及び市町村の名称
- II 連携中枢都市圏の中長期的な将来像
- III 連携協約に基づき推進する具体的取組
- IV 参考資料

### 期間

ビジョンの具体的取組の期間は令和8年度から令和12年度までの5年間とし、毎年度所要の変更を行う

## 6 策定体制

### 長野地域連携推進協議会

圏域9市町村の首長、オブザーバー（長野地域振興局・広域連合）

### 長野市連携中枢都市圏 ビジョン懇談会

産・学・金・官などの有識者、オブザーバー（長野地域振興局・広域連合）

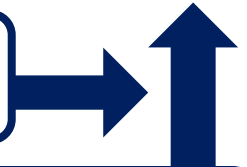
### 長野地域連携推進協議会幹事会

圏域9市町村の担当課長、オブザーバー（長野地域振興局・広域連合）

ビジョンの審議・最終決定

ビジョン案に対する意見具申

ワークショップなどを通じたビジョン案の検討、作成

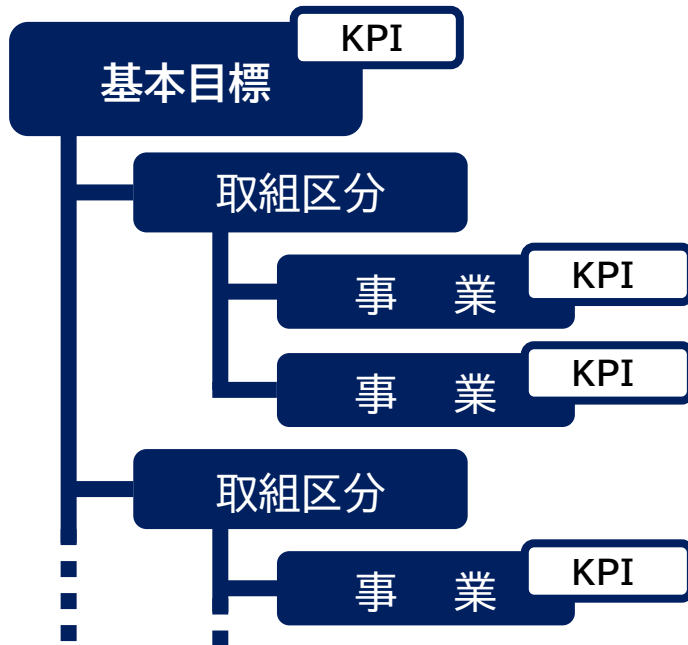


- ▶ ビジョンには、地域経済、高次都市機能及び生活関連機能に関する明確な成果指標 (KPI)を設定し、進捗管理をするよう定められている

《課題》事業ごとのKPIに、難易度の差がある

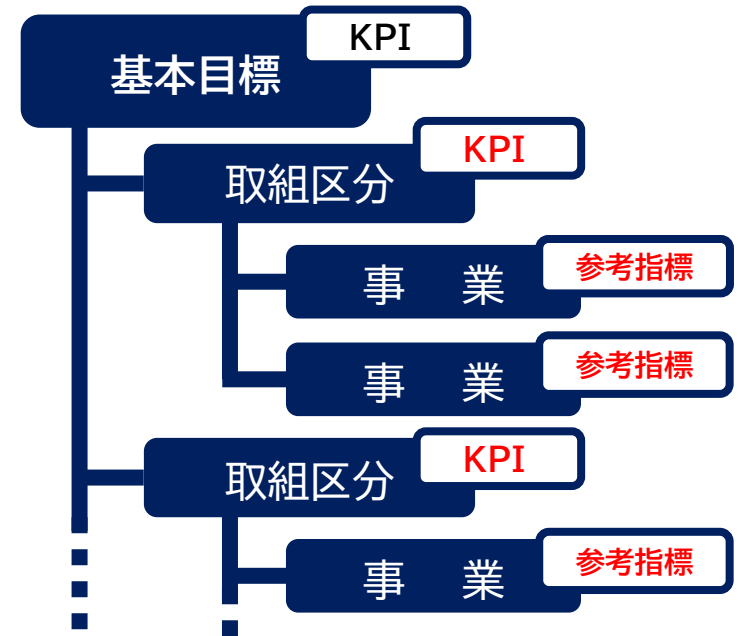
- ▶ 次期スクラムビジョン策定に伴い、以下の通りKPIの設定方法を変更する

## ◆ 現行ビジョン



- ◆ 基本目標及び各事業ごとにKPIを設定
- ◆ 基準値及び目標値を設定し、各年度ごとに進捗状況进行评估

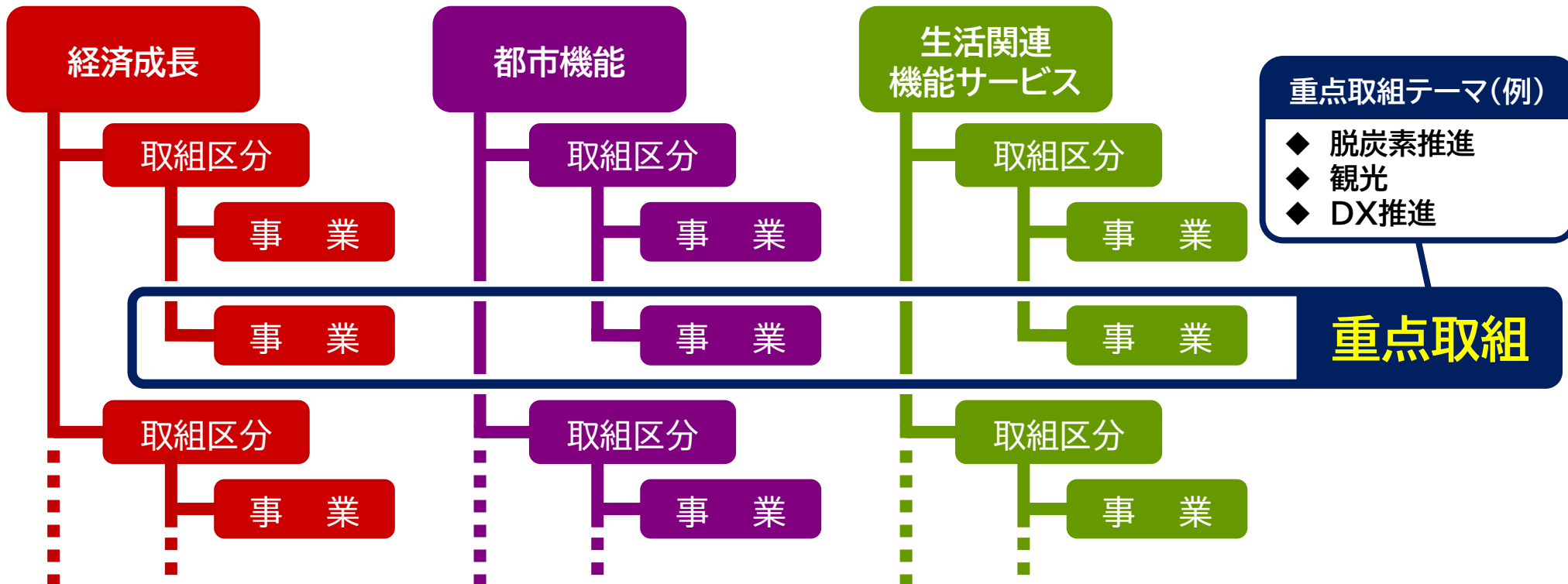
## ◆ 次期ビジョン(案)



- ◆ 新たに取組区分ごとにKPIを設定
- ◆ 各事業については、KPIの代わりに状況を確認するための、目標値を設けない参考指標を設定

《課題》戦略的に進める取組など、事業の中で濃淡がない

- ▶ 次期ビジョンの取組期間で重点的に取り組むテーマを設定し、該当する事業について区分を超えて、戦略的に実施する



◆ 重点取組テーマの設定については、幹事会及びワークショップ等で検討を予定

- ▶ 長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会及び長野地域連携推進協議会にて挙げられた意見等については以下のとおり

### 人口問題

- 首都圏へ流出した若者のUターン促進
- 地域の魅力向上や魅力を活かした人口増加施策

### 教育機関との連携

- シンクタンクとしての圏域の高等教育機関との連携

### データ活用

- データ利活用事業の推進

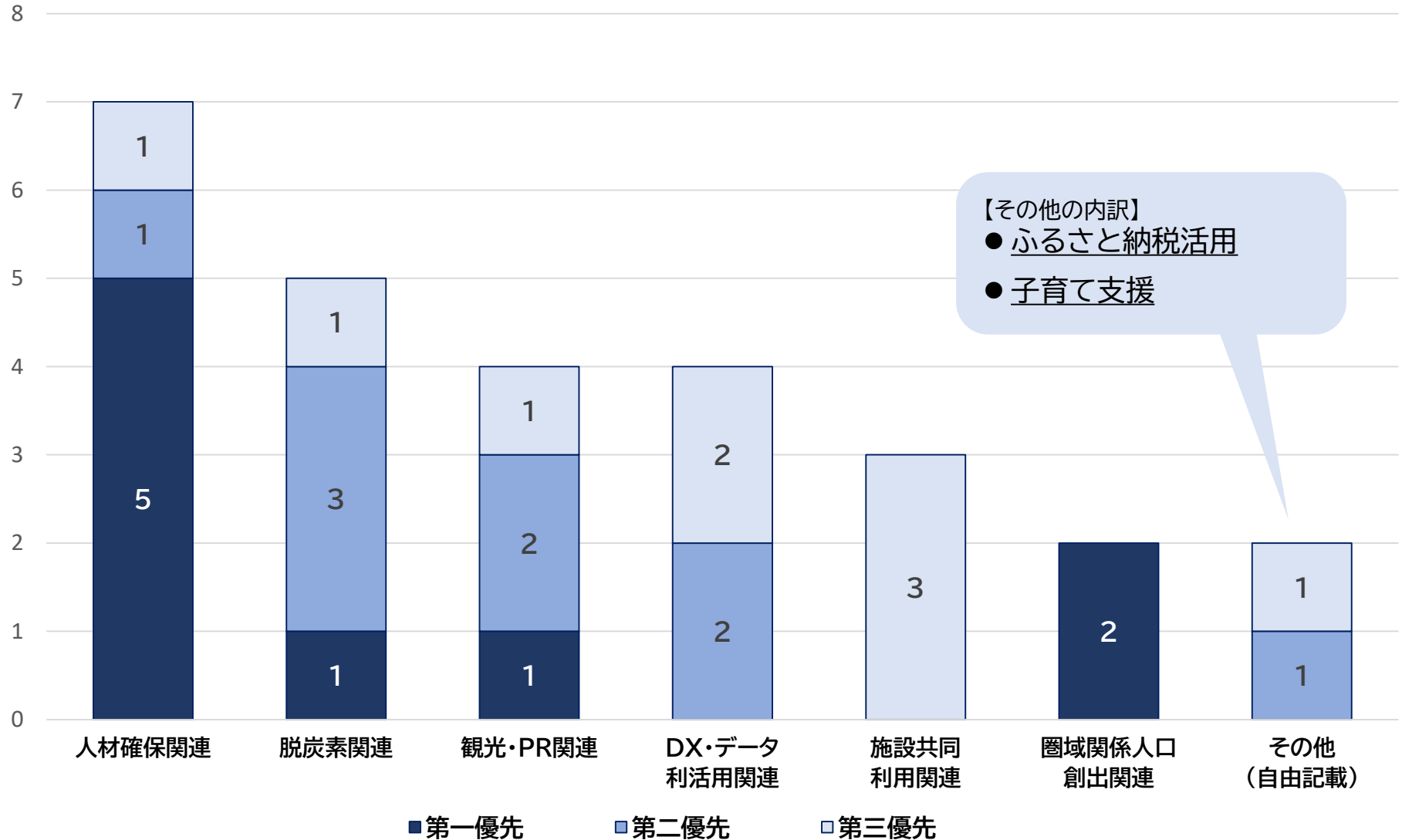
### 観光・インバウンド・移住

- 広域で連携したインバウンドの受入体制の整備
- 広域でのお祭り等の開催
- 圏域をひとつのエリアとしてPRするためのイメージづくり

### 文化芸術・公共施設

- アマチュア団体や伝統芸能等の公共ホール利用料の減免
- 各市町村の公共施設の相互利用を促進

▶ 各市町村の企画政策担当課への希望する重点取組テーマの照会結果は次のとおり





## 人材確保関連

- 圏域内の様々な人材育成や、市町村職員の採用の強化、職員の研修を実施し、圏域の活力向上や安定した公共サービスの持続を目指す
- 市町村職員の採用は、市町村ごとに採用試験の内容が異なるため、共同で実施する範囲を広める場合は、調整が必要

### 【関連事業】

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 2 大学等高等教育機関との連携活用事業 | 15 農業の新たな担い手育成事業       |
| 48 職員人材確保事業         | 54 公共施設等マネジメントスキルアップ事業 |
| 55 合同職員研修実施事業       | 56 技術職・専門職交流事業         |
| 57 保育士等情報交換研修等事業    |                        |



## 脱炭素関連

- 各地域の特色を活かして圏域で連携し、圏域全体の脱炭素化を進める
- 圏域として2050年までにゼロカーボンを目指す(2050年ゼロカーボン宣言)
- 民間団体との協力も視野に入れる

### 【関連事業】

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 14 バイオマス利活用促進事業  | 39 脱炭素化推進連携創出事業      |
| 40 圏域内の公共交通網構築事業 | 58 SDGs推進のための調査・研究事業 |



## 観光・PR関連

- 圏域内地場製品の販路拡大や、地域ブランド等のPR、情報発信を行うことで、地域の活性化や移住者の増加を目指す

### 【関連事業】

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 5 合同プロモーション事業    | 6 産業展示会事業      |
| 7 農業イベント開催事業     | 10 ふるさと納税活用事業  |
| 11 広域観光連携事業      | 31 ホームタウン活性化事業 |
| 36 アウェイツーリズム活用事業 | 43 地場産品直売所活用事業 |
| 44 地産地消商談会開催事業   | 45 移住・定住促進事業   |
| 52 広報活動連携事業      |                |



## DX・データ利活用関連

- DX推進やデータ利活用について、共同で研究・調査・分析・研修等を実施し、地域課題の解決や、行政の効率化を目指す
- 大学等と連携し、データ分析を依頼する等、発展も可能か

### 【関連事業】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 8 スマート農業推進事業 | 42 オープンデータ利活用推進事業 |
|--------------|-------------------|



## 施設共同利用関連

- 住民が圏域内の公共施設を、居住自治体に関わらず利用できるようにする
- 公共施設やインフラ施設の維持管理スキルを持った職員の育成を行う
- 施設によっては、料金体系の見直し等が必要な可能性がある

### 【関連事業】

29 図書館資料貸出しの広域化事業

54 公共施設等マネジメントスキルアップ事業



## 圏域関係人口創出関連

- 圏域に対して、居住している「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」を創出し、圏域の活性化を目指す

### 【関連事業】

10 ふるさと納税活用事業

- ▶ 昨年度開催の長野地域連携推進協議会にて、移住等県外へのPRのため、長野地域連携中枢都市圏の愛称を設定するよう複数意見あり
- ▶ 愛称の決定方法(案)については以下のとおり

## 案1

### 既存愛称の使用

- ▶ 長野地域振興局の長野県魅力発信ブログで既に使用されている「ほっと9(ナイン)ながの」を長野地域の愛称とする
- ▶ ブログと混同される可能性がある

## 案2

### 連携事業として 位置付け

- ▶ 「長野地域魅力向上事業(仮)」として次期スクラムビジョンの連携事業に位置付け、令和8年度以降に愛称等を作成する
- ▶ 観光関連の重点取組テーマの事業の1つとして設定し、観光、商業等の事業と絡めてPRする

▶ 今後の各会議等の日程は以下のとおり

